

＼東浦町の廃食用油も原料に／

国産 SAF(持続可能な航空燃料)が セントレア発の航空機に初めて使用されます

東浦町では、中部国際空港株式会社と2024年4月25日に循環型社会の実現に向けた連携に関する協定を締結し、家庭等から排出される廃食用油を回収してSAF(Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料)に循環させる取り組みを始めました。

この度、中部国際空港セントレアにおいて、東浦町の家等から回収された廃食用油を原料とした国産SAFが貨物機(貨物輸送のための航空機)に初めて供給されることになりました。セントレアにおいて国産SAFが供給されるのは初めてであるとともに、貨物機への国産SAFの供給も日本初となります。

これを記念して開催される、国産SAF供給開始記念セレモニーに東浦町長が出席します。

■セントレア 国産SAF供給開始記念セレモニー

- 日時 2025年5月23日(金) 10時～11時
- 場所 セントレア 第2国際貨物上屋 DHL区画(DHL機駐機場所付近)
- 内容 出席者挨拶、取り組みの紹介、写真撮影
- 出席者
 - ・東浦町長 日高 輝夫
 - ・愛知県知事 大村 秀章氏
 - ・常滑市長、大府市副市長、知多市副市長
 - ・DHLジャパン(株) 代表取締役社長
 - ・中部国際空港(株) 代表取締役社長 ほか
- 主催 中部国際空港株式会社
- セレモニーに関する問い合わせ
中部国際空港株式会社 広報グループ ☎0569-38-7775

■問い合わせ

東浦町環境課 ☎0562-83-3111(内線283) 担当：井高、竹内